

公開シンポジウム

学歴社会の実像と虚像

近年、格差社会の深刻化が社会的に重要な問題として認識されるようになった。教育が格差社会に影響をおよぼしていることと、学力低下が問題となっていることから、教育問題に対する関心も急速に高まってきている。近年高まっている教育問題に対する関心は、ゆとり教育がもたらした弊害と関係している。ゆとり教育が公立学校の質的低下をもたらし、教育機会格差を拡げる結果をもたらしたと考えられる。また、偏差値の高い学校に進学することがどの程度まで人生の成功を意味するのか、または再チャレンジの機会は存在しているのかといった問題も課題となっている。教育を満足に受けられない子供たちをどのように支援するかといったことも直面する課題として存在している。

本シンポジウムでは、教育機会格差の実態と教育機会格差をもたらす家庭内における経済的・文化的環境要因を明らかにし、それが格差社会にどのような影響を与えているかを議論する。

日時

2013年11月4日(月・祝)

会場

同志社大学室町キャンパス
寒梅館ハーディーホール

14:00-17:00

(京都市上京区烏丸通今出川上る)

<http://www.doshisha.ac.jp/information/facility/kanbai/>

八木 匡



清家 篤



本田 由紀



志賀 茂



橘木 俊詔

プログラム (敬称略 順不同)

定員

800名

(先着順)

事前申し込み

不要

第1部

基調講演「学歴社会の実像と虚像」

八木 匡 (経済学部教授)

第2部

パネリストプレゼンテーション

清家 篤 (慶應義塾長)
 本田 由紀 (東京大学大学院・教育学研究科教授)
 志賀 茂 (がんこフードサービス株式会社 代表取締役社長)

パネルディスカッション

パネリスト

八木 匡 (経済学部教授) 本田 由紀 (東京大学大学院・教育学研究科教授)
 清家 篤 (慶應義塾長) 志賀 茂 (がんこフードサービス株式会社 代表取締役社長)

司会: 橘木 俊詔
(ライフリスク研究センター長)

後援

京都府、京都府教育委員会、京都市、NHK京都放送局、京都新聞社、あしなが育英会

共催

同志社大学 創造経済研究センター

お問い合わせ先

同志社大学ライフリスク研究センター

Tel:075-251-3728 Fax:075-251-3727 Email: rc-risk@mail.doshisha.ac.jp <http://liferisk.doshisha.ac.jp>

講師略歴

やぎ・ただし

八木 匡 (同志社大学経済学部教授)

昭和34年愛知県生まれ、経済学博士。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程単位満了退学。京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経た後、現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事(2002年～2007年)、文化経済学会<日本>理事(2010年～)。専門は公共経済学。European Economic Review等海外学術雑誌等に論文を多数掲載。『教育と格差』(橘木俊詔との共著)、『スポーツの経済と政策』(横山勝彦、伊多波良雄、伊吹勇亮との共編著)等の著書を執筆。

せいけ・あつし

清家 篤 (慶應義塾大学商学部教授/慶應義塾長)

慶應義塾大学経済学部卒業。博士(商学)。2007年より商学部長、2009年より慶應義塾長。専門は労働経済学。現在、日本私立大学連盟会長、経済社会総合研究所名誉所長、などを兼務。この8月まで社会保障制度改革国民会議会長を務める。近著に『60歳からの仕事』(共著)講談社(2009年)、『エイジフリー社会を生きる』NTT出版(2006年)、『高齢者就業の経済学』(共著)日本経済新聞社(2004年、第48回日経・経済図書文化賞(2005年)受賞)、『労働経済』東洋経済新報社(2002年)、『生涯現役社会の条件』中公新書(1998年)、『高齢化社会の労働市場』東洋経済新報社(1993年、第17回労働関係図書優秀賞(1994年)受賞)などがある。

ほんだ・ゆき

本田 由紀 (東京大学大学院教育学研究科教授/日本学会連携会員)

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)。日本労働研究機構研究員、東京大学社会科学研究所助教授等を経て、2008年より現職。専門は教育社会学。教育・仕事・家族という3つの社会領域間の関係に関する実証研究を主として行う。特に、教育から仕事への移行をめぐる変化について指摘と発言を積極的に行っている。主な著書に、『若者と仕事』(東京大学出版会)、『多元化する「能力」と日本社会』(NTT出版、第6回大佛次郎論壇賞奨励賞)、『家庭教育の隘路』(勁草書房)、『軋む社会』(河出文庫)、『教育の職業的意義』(ちくま新書)、『学校の「空気」』(岩波書店)、『「ニート」って言うな!』(共著、光文社新書)、『労働再審1 転換期の労働と「能力」』(編著、大月書店)ほか。

しが・しげる

志賀 茂 (がんこフードサービス株式会社 代表取締役社長)

1946年 京都府福知山市生まれ。1972年 同志社大学経済学部卒業後、現がんこフードサービス株式会社入社。営業部長、業態開発部長、常務取締役開発本部長、専務取締役人事本部長、取締役副社長を経て、2005年 代表取締役社長に就任。関西経済同友会 幹事、大阪商工会議所 ツーリズム委員会副委員長、関西経済連合会 食と農専門委員会委員などを務める。日本の食文化の伝統を守り、付加価値型経営を目指している。

司会者略歴

たちばなき・としあき

橘木 俊詔 (同志社大学経済学部教授・ライフリスク研究センター長)

ジョンズ・ホプキンス大学大学院修了(Ph.D.)。仏英米独での研究・教育を歴任して、大阪大学を経て京都大学教授、現在は同志社大学経済学部教授。元・日本経済学会会長。専攻は労働経済学・公共経済学。著書に『格差社会』(岩波新書)、『安心の経済学』(岩波書店)、『日本の教育格差』(岩波新書)、『学歴入門』(河出書房新社)、『京都三大学 京大・同志社・立命館』(岩波書店)、『宗教と教育』(河出書房新社)など多数。

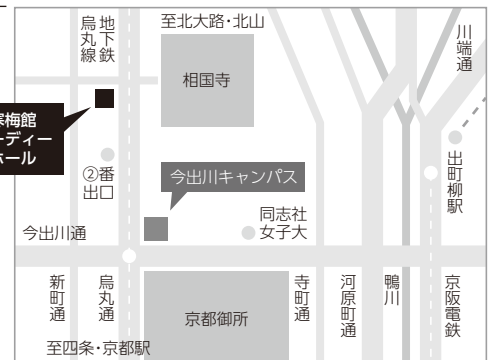
会場のご案内

同志社大学寒梅館
「ハーディーホール」

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸上ル

<http://www.doshisha.ac.jp/information/facility/kanbai/>

- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分(最寄り②番出口)
- 京阪「出町柳」駅から徒歩15分



学歴社会の実像と虚像

同志社大学ライフリスク研究センター主催 公開シンポジウム